

人として共に生きる態度を育てる人権教育と校長の在り方

B地区

I はじめに

人権教育とは「人権尊重の精神の涵養を目的とする教育活動」であり、「国民がその発達段階に応じ、人権尊重の理念に対する理解を深め、これを体得することができるようにすること」が求められている。また、小学校学習指導要領総則には、道徳をはじめ学校の教育活動全体を通じて、「人間尊重の精神と生命に対する畏敬の念」を「具体的な生活の中で生かす」ことが目標として示されている。

これを受け、各校ではすべての児童の人権を守ると共に児童一人一人の人権意識の育成に全力で取り組んできた。しかしながら、いじめによる自殺やインターネットによる誹謗中傷などが問題となるなど、いかにして児童に人権意識を根付かせていくかが重要な課題となっている。

そこで私たちは、人権教育を推進するにあたって、「人権尊重」を「互いの違いを違いとして認め合い、自分を大切にすると共に他の人を大切にすること」と捉えた。これが意識化され、実際の行動として現れるようにするためには、児童一人一人の自尊感情を高めることで、児童相互の信頼と尊重が生まれるような取組が必要であると考えた。

また、児童の人権意識は家庭や地域社会からも影響を受けており、学校や関係機関からの働きかけや啓発も大切であり、そのための校長の役割が重要であると考えた。

以上のことを踏まえ、本研究では仙台市B地区における人権教育の現状を把握すると共に、その推進を図るための校長のリーダーシップの在り方を明らかにしていきたい。

II 研究のねらい

1 仙台市B地区各小学校における人権教育の現状を把握し、校長として取り組まなければならない課題を明らかにする。

2 人権教育推進のための有効な方策を探り、校

長としてのリーダーシップの在り方を明らかにする。

3 先進的な実践例の情報を共有することで、各校の人権教育の推進につなげる。

III 研究の進め方

1 第1年次（平成19年度）

- (1) 人権教育推進状況に関するアンケートの実施
- (2) 規範意識に関する調査の実施
- (3) 調査結果の分析と人権教育推進上の課題の把握

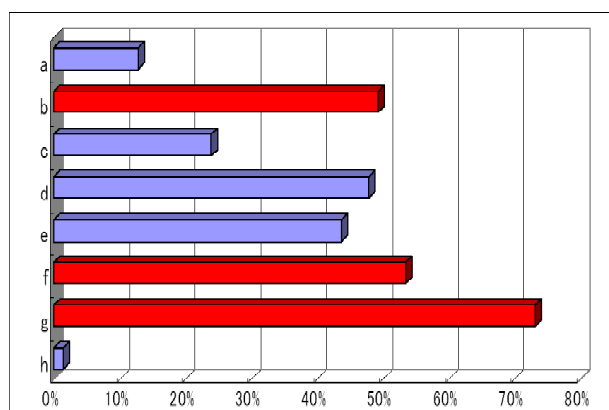
2 第2年次（平成20年度）

- (1) 実践事例を収集し、人権教育推進のための有効な方策を探る。
- (2) 人権教育推進のための校長としてのリーダーシップの在り方を明らかにする。

IV 研究の概要

1 人権教育推進状況に関する調査

- (1) 人権教育を進める上で重要なこと

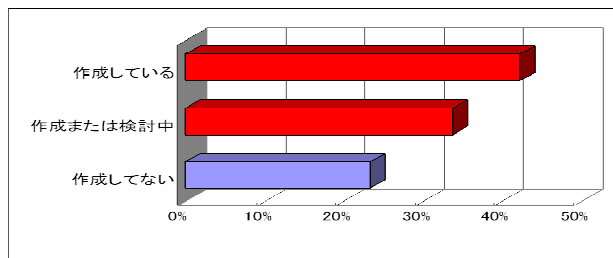


- a 基礎学力 b 基本的な生活習慣
c 主体的に学ぶ意欲や態度 d 自尊感情
e つながりのある集団 f コミュニケーション能力
g 違いを違いとして認める心 h その他

仙台市B地区71校の小学校の校長は、「違いを違いとして認める心」、「コミュニケーション能力」、「基本的な生活習慣」、「自尊感情」等の育成を重視している。

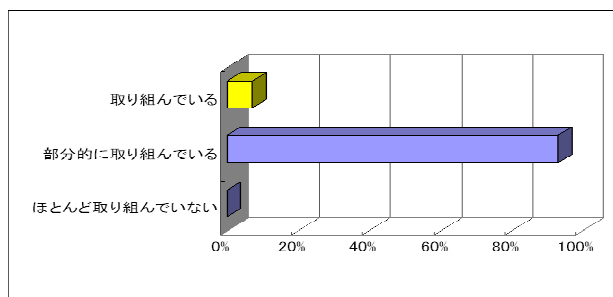
(2) 人権教育の推進状況

① 全体計画の作成状況



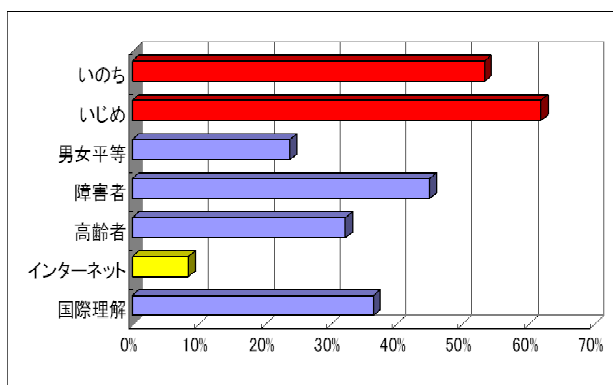
全体計画を「作成している」と「作成中及び検討中」を合わせると8割近くになり、全体計画は比較的整備されている。

② 取組の評価



全体計画は整備されているが、「よく取り組んでいる」が少なく、ほとんどが「取組は部分的である」と評価している。

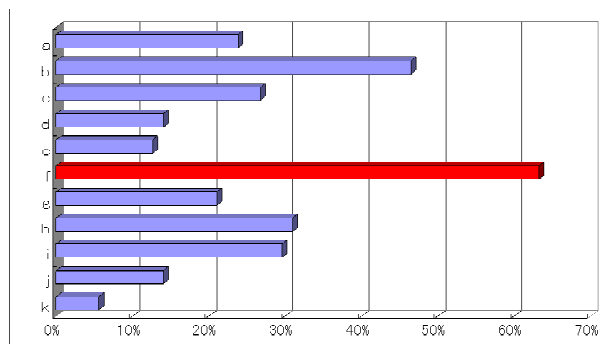
③ 各内容に対する取組



取組の内容では、「命」や「いじめ」については、どの学校もよく取り組んでいると評価している。しかし、「インターネット」が

極端に少ないことから「情報モラル」への取組は不十分のようである。

(3) 人権意識が十分に育たない原因



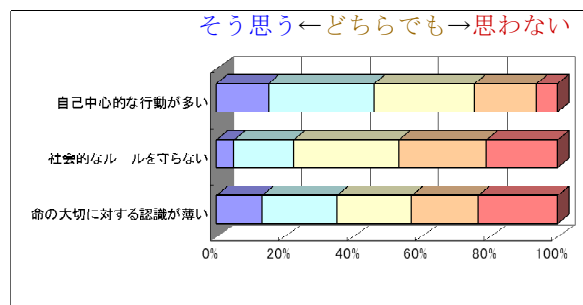
a 言葉の捉え方が曖昧 b 幅広く実践されるべき
 c 指導されないで終わる d 特別な時間設定がない
 e 全体計画ができていない f 規範意識が低下している
 g テレビやマンガの影響 h テレビゲームの影響
 i 人を見下す社会的風潮 j インターネットなどの弊害
 k その他

「家庭における規範意識の低下」がその主な原因で、他に、「バトル中心のテレビゲームの影響」、「人を見下したり馬鹿にしたりするギャグで笑いをとる風潮」、「テレビや漫画などの影響による短絡的思考」等の社会的風潮も要因の一部ととらえている。

2 規範意識に関する調査

(1) 児童の規範意識及び家庭でのしつけ

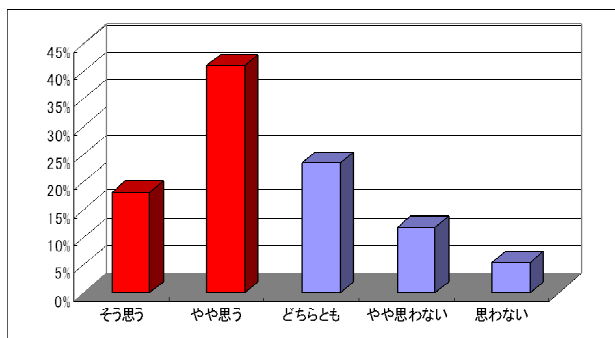
① 子どもたちの考え方や行動を見て



親は、「社会的なルールは守っている」のではないかなど、どちらかというとな規範意識はさほど低下していないと捉えている。「命

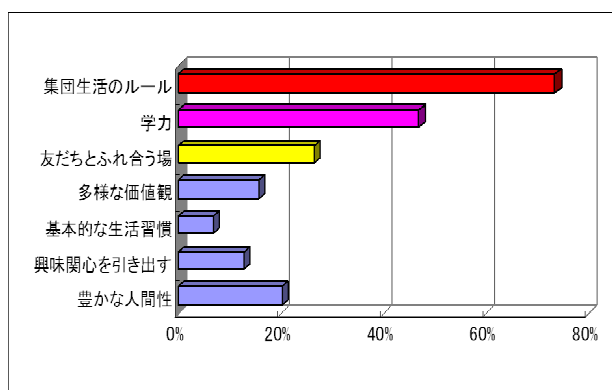
の大切さ」については、「認識している」と「認識が薄い」の二極化傾向が見られる。

② 家庭でのしつけについて



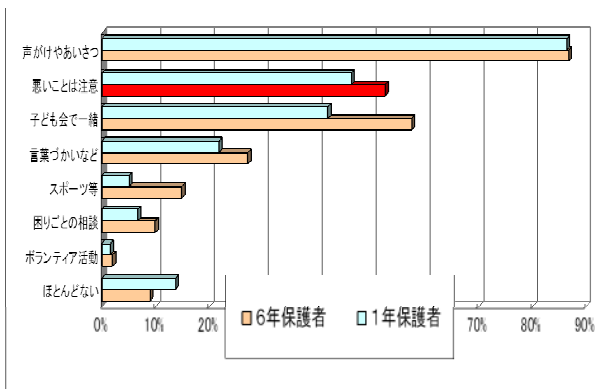
「十分でない」と「やや思う」の合計が約6割となり、保護者自身、「家庭でのしつけ」は十分でないと認識している。

(2) 学校に期待する役割



「学力」ではなく、「集団生活のルール」が一番。「友達とのふれあい」への期待も高く、人間関係作りやコミュニケーション能力を身につけてほしいという保護者の願いが伺える。

(3) 地域の子どもへの接し方



地域の子どもたちが悪いことをしたとき、1年生の親より、6年生の親の方が、より多く注意している。

3 アンケート結果から

- どの学校も人権教育の重要性を認識し、様々に工夫し取り組んでいる。しかし、人権教育自体の幅の広さや児童の人権意識が育っていないとの思いから、自校の取組は、まだ部分的であると評価している。
- 保護者も「子どもの規範意識はそれほど低下しているとはいえない」としつつも、人間関係づくりやコミュニケーション能力の育成が大事であるとして、「人として共に生きようとする態度」の育成を求めている。

4 人権教育についての実践例

(1) 「いのちを見つめて」(南小泉小学校)

子どもたちは、自分のからだや命そのものに興味・関心をもっているが、その疑問や不安に対し、教師は十分に応える場と機会を与えていないのではないかと考え、「生命観」や「からだ観」を育てたいとした授業実践。

校長がバックアップしたことで、全学年に広がりを見せた。

特に、「皮膚：傷が治るふしぎ発見」や「心臓循環」、「いのちの始まり」といった授業を通して、人間のからだの緻密な営み・しくみを学習することで、知識に加えて、子どもたちの中に自分自身の存在がかけがえのないものであると肯定する力が育っている。

また、保護者に対しても、講演会やPTA広報紙を通して、授業内容を積極的に提供し、学校の取組について理解を深めてもらうとともに、人権意識の啓発を図っている。

(2) 「地域の特性を生かした福祉教育」

(燕沢小学校)

「共に生きる」ことを理解し実感できる児童の育成を「総合的な学習の時間」の目標におき、学年ごとにキャップハンディ体験等を行ったり、地域にある特別養護老人ホーム

と連携し、全学年で交流を企画したりして実践している。



こうした活動の積み重ねによりボランティア活動への意識が高まったり、小集団による施設訪問等の自主的な活動も活発になってきている。

これらの活動は、歴代校長が人権感覚の大切さを実感し、重点施策として代々指導を積み重ね、築き上げてきた成果でもある。

市教委発行の指導資料「みとめあう心」との関連性を図るため、一年間のいろいろな教育活動を7つの観点別に分類し、教職員が、どの場面でどのような点に重点的に取り組んでいったらいいのかが一目でわかるように工夫されている。

(4) 「校長室だよりの発行」

(連坊小路小学校)

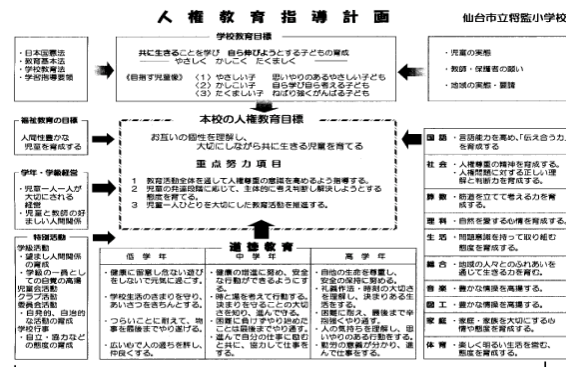


(3) 「全体計画の作成」 (将監小学校)

「人権教育」としての時間設定がないため、教職員の意識も低調になりやすい現状を打破するため、毎日展開される教育活動のどの部分が人権教育とかかわりがあるかを意識づけるよう校長が担当者と一緒に作り上げた全体計画である。

校長が、自らの教育方針や考え・思い等を綴った「校長室だよりの発行」の中で、「人権」について、保護者に問いかけた実践である。

保護者から多くの感想や意見が返されるなど反響も大きく、保護者や地域でもその大切さについてじっくり考える契機となった。



V 研究のまとめと今後の課題

- 1 人権教育は、学校教育全体で取り組まれるべきであり、そのためには、目標や指導方針、教科等との関連を明確にした全体計画が必要である。
- 2 児童に人権意識を根付かせるには、児童自身の自尊感情の醸成が必要である。そのためには児童一人一人が大切にされる授業・学校づくりが重要であり、校長は全職員の参画意識を高揚させながら、これを推進していかなければならない。
- 3 自尊感情の醸成の上に立って、他を思いやる心情と実践力を高めるため、児童が身近に人権問題に気づき主体的に関わっていけるよう、体験活動等を計画的に推進していくことが有効である。
- 4 人権教育の推進には、家庭・地域との連携が不可欠である。地域やPTA活動等への保護者の積極的参加を促したり、学校での人権教育への取組を伝えることで、意識向上を図ることが重要である。

いのち	仲間と共に	男女平等	障害者	高齢者	情報	国際理解	項目
p3・4	p5・6	p7・8	p9・10	p11・12	p13・14	p15・16	みとめあう心 (5・7冊) 仙台市
3-10 健康 生活習慣が 心身の健康	4-(2) 健康 心身の健康 生活習慣が 心身の健康	2-(2) 健康 心身の健康 生活習慣が 心身の健康	2-(2) 健康 心身の健康 生活習慣が 心身の健康	2-(2) 健康 心身の健康 生活習慣が 心身の健康	2-(2) 健康 心身の健康 生活習慣が 心身の健康	4-(1) 健康 心身の健康 生活習慣が 心身の健康	め (3・4冊) 1 (1・2冊)
3-(1) 健康 心身の健康 生活習慣が 心身の健康	2-(1) 健康 心身の健康 生活習慣が 心身の健康	2-(1) 健康 心身の健康 生活習慣が 心身の健康	2-(1) 健康 心身の健康 生活習慣が 心身の健康	2-(1) 健康 心身の健康 生活習慣が 心身の健康	2-(1) 健康 心身の健康 生活習慣が 心身の健康	4-(1) 健康 心身の健康 生活習慣が 心身の健康	め (3・4冊) 1 (1・2冊)
4年級 は大人 生活習慣が 心身の健康	4年級 は大人 生活習慣が 心身の健康	4年級 は大人 生活習慣が 心身の健康	4年級 は大人 生活習慣が 心身の健康	4年級 は大人 生活習慣が 心身の健康	4年級 は大人 生活習慣が 心身の健康	4年級 は大人 生活習慣が 心身の健康	め (3・4冊) 1 (1・2冊)
4年級 は大人 生活習慣が 心身の健康	4年級 は大人 生活習慣が 心身の健康	4年級 は大人 生活習慣が 心身の健康	4年級 は大人 生活習慣が 心身の健康	4年級 は大人 生活習慣が 心身の健康	4年級 は大人 生活習慣が 心身の健康	4年級 は大人 生活習慣が 心身の健康	め (3・4冊) 1 (1・2冊)

【参考資料】 人権教育資料「みとめあう心」(仙台市教育委員会) : 運用資料「6のノート」(文部科学省) 福祉のまちづくり法(「みんなが住みよいまちづくり」) (仙台市健康福祉局) : 運用資料「6のノート」(文部科学省) 性暴力防止啓発のリーフレット (仙台市男女共同参画推進課)